

49

P 午後

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 26 年 2 月 23 日 14 時 20 分 ～ 17 時 00 分)

注意事項(一般受験者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間40分である。

2. 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題には1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 破傷風菌の純粋培養に成功したのは誰か。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例2) 102 解体新書を完成させたのは誰か。2つ選べ。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例1)の正解は「1」であるから答案用紙の①をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④	⑤
			↓		
101	●	②	③	④	⑤

答案用紙②の場合、

101	101
①	●
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	⑤

(例2)の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の③と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

102	①	②	③	④	⑤
			↓		
102	①	②	●	④	●

答案用紙②の場合、

102	102
①	①
②	②
③	→ ●
④	④
⑤	●

(2) ア. (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。

イ. (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

注意事項(弱視者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間40分である。

2. 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題には1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 破傷風菌の純粋培養に成功したのは誰か。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例2) 102 解体新書を完成させたのは誰か。2つ選べ。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例1)の正解は「1」であるから答案用紙の

問題 番号	答
101	

の「答」の欄に

問題 番号	答
101	1

と記入すればよい。

(例2)の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の

問題 番号	答
102	

の「答」の欄に

問題 番号	答
102	3 5

と記入すればよい。

答えの数字は、はっきりと記入すること。不明瞭なものは解答したことにならないので注意すること。

(2) ア. (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。

イ. (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

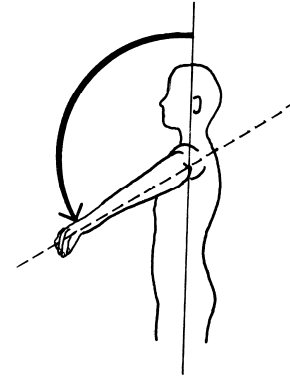
(3) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

◎ 指示があるまで開かないこと。

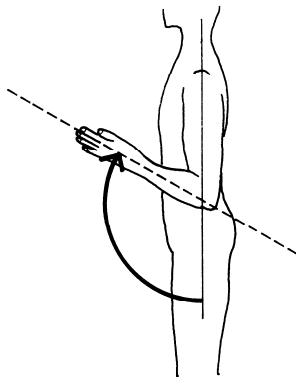
1 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)で正しいのはどれか。2つ選べ。



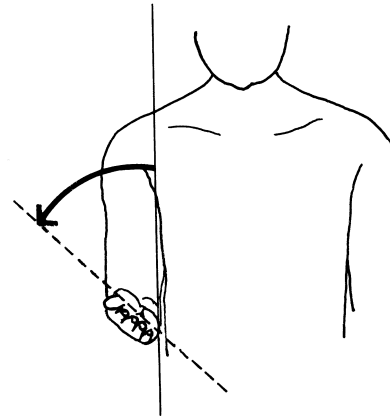
1. 手橈屈



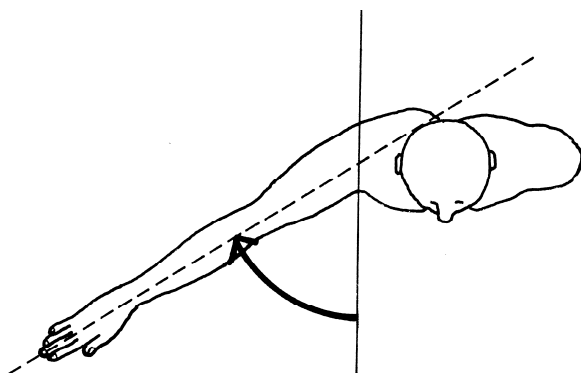
2. 肩内旋



3. 肘屈曲



4. 前腕回外



5. 肩水平伸展

—— 基本軸
----- 移動軸

2 Danielsらの徒手筋力テストで、体幹屈曲の段階2以下では判定のために3段階の操作が示されている。検査肢位を図に示す。

段階2が確定するのはどれか。2つ選べ。

図1

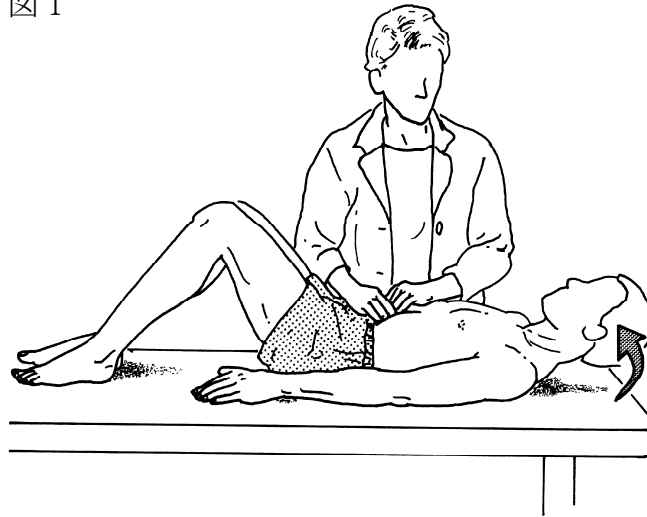
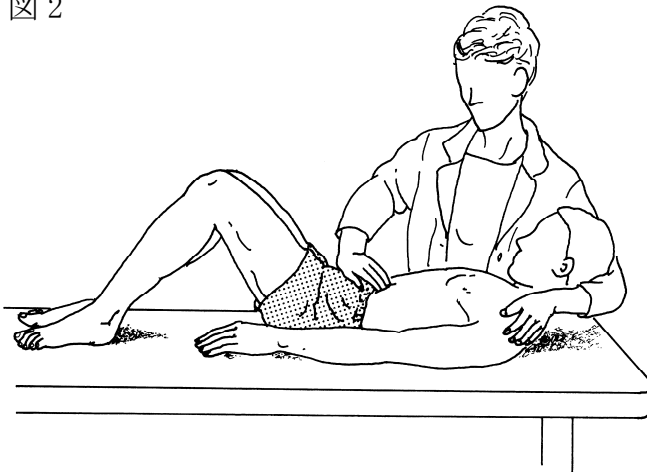


図2



1. 図1で頭を持ち上げるように教示したとき、頭は持ち上がったが肩甲骨が床から離れなかった。
2. 図1で頭を持ち上げるように教示したとき、頭を持ち上げることができなかった。
3. 図2で体幹前屈を教示したとき、胸郭に凹みが生じた。
4. 図2で体幹前屈を教示したとき、胸郭は凹まなかったが腹直筋の収縮を触知できた。
5. 図2で咳をするように教示し、咳はできなかったが腹直筋の収縮を触知できた。

次の文により 3、4 の問いに答えよ。

65 歳の男性。右利き。左上下肢の脱力のため搬送された。頭部 MRA(別冊 No. 1)を別に示す。

別 冊

No. 1

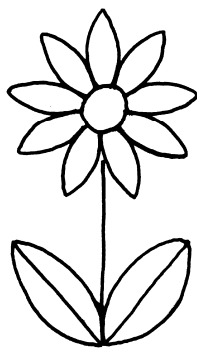
3 閉塞している血管はどれか。

1. 左前大脳動脈
2. 左中大脳動脈
3. 右後大脳動脈
4. 右内頸動脈
5. 脳底動脈

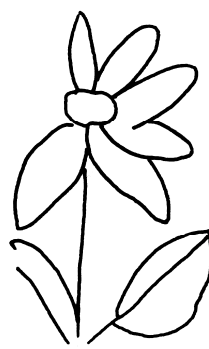
4 この患者に絵の模写を行わせると、図のように描いた。

この患者に伴いやすい高次脳機能障害はどれか。

提示絵



患者が写し描いた絵

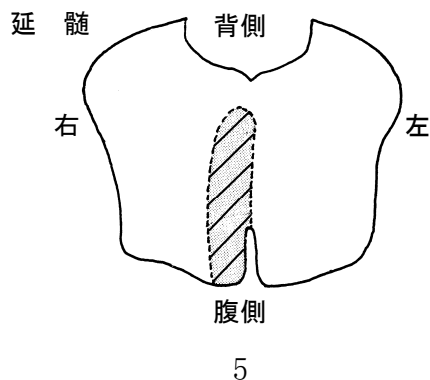
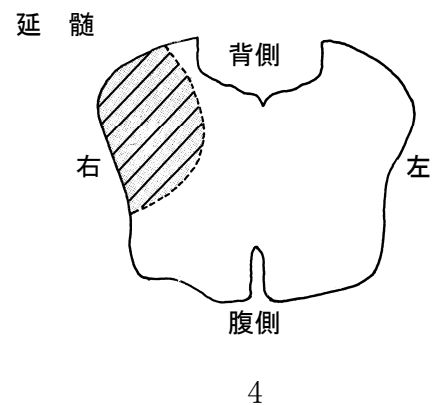
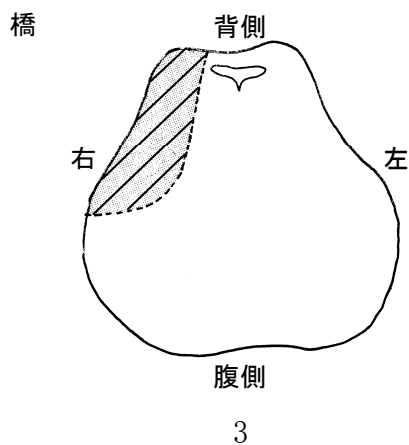
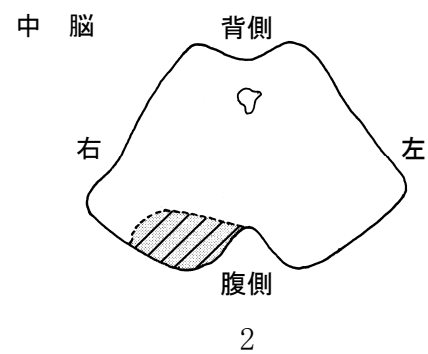
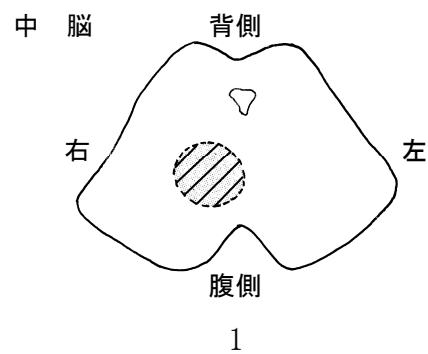


1. 失語症
2. 観念失行
3. 純粹失読
4. 左右失認
5. 着衣障害

次の文により 5、6 の問いに答えよ。

58 歳の男性。生来健康であったが、突然のめまいと歩行困難で救急搬送された。脳梗塞の診断で理学療法が開始された。理学療法の初期評価では、めまい、眼振とともに、右側には小脳性の運動失調、Horner 症候群および顔面の温痛覚障害がみられた。左側には上下肢の温痛覚障害がみられたが深部感覚は保たれていた。

5 病巣はどれか。



6 この患者が立位をとったところ、不安定で突進するような現象 (pulsion) がみられるために介助が必要であった。

この現象がみられる方向はどれか。

1. 後 方
2. 前 方
3. 右側方
4. 左側方
5. 全方向

7 脳卒中片麻痺患者の麻痺側の足背屈可動域を測定した結果を表に示す。

膝の肢位	他動可動域	自動可動域
屈曲位	20°	20°
伸展位	10° (P)	5°

(注：(P)は疼痛ありを示す)

解釈で正しいのはどれか。

1. ヒラメ筋の短縮がある。
2. 分離運動の障害がある。
3. 足の靭帯に疼痛がある。
4. 腓腹筋の収縮時痛がある。
5. 前脛骨筋の筋力はMMT2未満である。

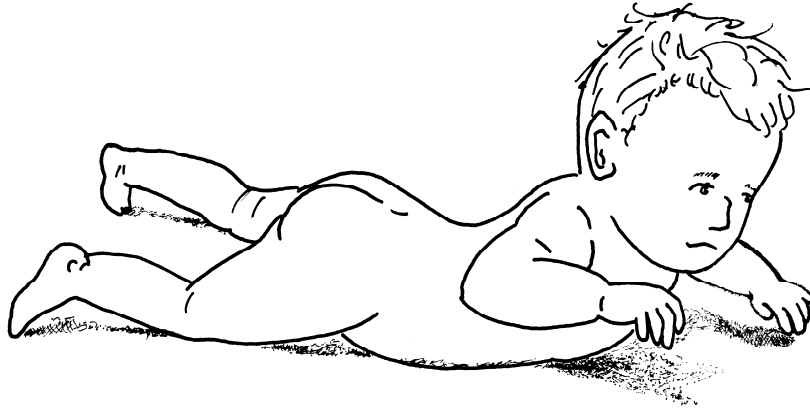
8 60歳の男性。Parkinson病。3年前に右手の振戦で発症し、2年前から左足と左手の振戦を認めている。最近、前かがみが強くなり、腹部が締めつけられるような感覚を生じることがある。独歩は可能。事務仕事を継続している。

外来時の指導で適切なのはどれか。

1. 呼吸法
2. 毎日10分間の散歩
3. 体幹コルセットの装着
4. 四肢の高負荷筋力トレーニング
5. 肩甲帯と体幹を大きく動かす運動

9 健常児。最近、腹臥位にて図に示す姿勢をとるようになった。

この月齢で残存している可能性が最も高い反射はどれか。



1. Moro 反射
2. Galant 反射
3. 交叉伸展反射
4. 足底把握反射
5. 非対称性緊張性頸反射

10 25歳の男性。オートバイ運転中に乗用車と接触して頭部を強打し救急搬送され、外傷性脳損傷と診断された。理学療法が開始され2か月が経過した。FIMは92点。基本動作はすべて可能であるが、注意散漫になりやすい。Brunnstrom法ステージは上肢Ⅵ、下肢Ⅴ、modified Ashworth scale 1、歩行速度は0.9 m/s、functional balance scaleは52点であった。

現時点の理学療法で重点的に行う内容はどれか。

1. 痙縮の軽減
2. 平地歩行練習
3. 二重課題練習
4. 分離運動の促通
5. 立位バランス運動

11 55歳の男性。筋萎縮性側索硬化症。1年前から通勤時に右足がつまづくようになった。最近では意識して膝を上にあげて歩行している。腰椎MRIでは病的所見はなく、針筋電図所見では両側の前脛骨筋に右側優位の神経原性変化を認めた。

適切な対応はどれか。

1. 座位時は足を挙上しておく。
2. 移動時に車椅子を利用する。
3. 立ち上がり運動を繰り返す。
4. 前脛骨筋に治療的電気刺激を行う。
5. 右側プラスチック短下肢装具を装着する。

12 56歳の男性。数年前から頸椎椎間板ヘルニアを指摘されていた。昨日、自宅で転倒して突然に麻痺を呈した。頸髄損傷と診断され、主な損傷部位以下の機能はASIA機能障害尺度でBである。頸椎MRI(別冊 No. 2)を別に示す。

正しいのはどれか。

1. 横隔膜の麻痺がある。
2. 肩をすくめることができる。
3. スプーンを握り食事ができる。
4. 棚の上の物をとることができる。
5. 頸部を回旋することができない。

別 冊

No. 2

13 58歳の女性。12年前発症の関節リウマチ。突然指が伸展できなくなり受診した。受診時の手の写真(別冊 No. 3)を別に示す。

障害されたのはどれか。

1. 橈骨神経
2. 長橈側手根伸筋
3. (総)指伸筋
4. 固有示指伸筋
5. 尺側手根伸筋

別 冊

No. 3

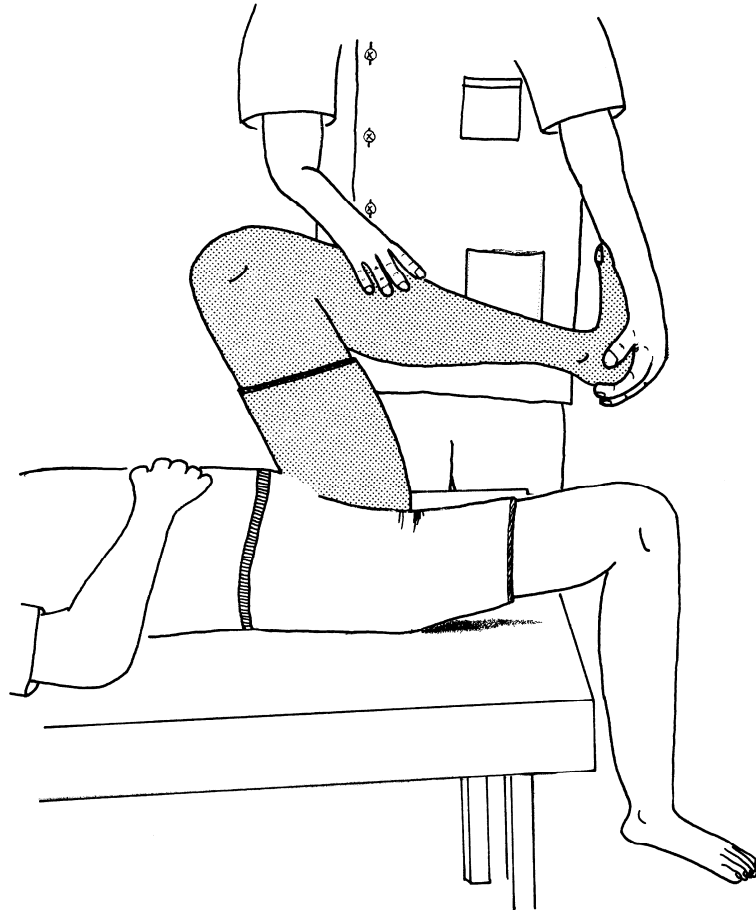
14 25歳の男性。野球の試合で走塁中に右大腿後面に違和感と痛みとを生じ、近くの整形外科を受診した。大腿部エックス線写真では骨折を認めなかった。

現時点の対応で**適切でない**のはどれか。

1. 下肢の挙上
2. 浮腫の予防
3. アイシング
4. 超音波照射
5. 弾性包帯での圧迫

15 Thomas テスト(変法)による検査を図に示す。

この検査で評価できないのはどれか。



1. 右腸腰筋の短縮
2. 左大殿筋の短縮
3. 左腓腹筋の短縮
4. 左ヒラメ筋の短縮
5. 左大腿四頭筋の短縮

16 22歳の男性。身長170 cm、体重70 kg。外傷性頸髄損傷後6か月経過。MMTは、肘関節屈曲5、肘関節伸展2、手関節屈曲1、手関節伸展4、手内筋0、下肢0。ベッドへの移乗が自立したので、屋内で使用する車椅子を検討した。

車椅子作製上の留意点で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 背もたれの高さを肘台と同じ高さにする。
2. 駆動輪の車軸を標準よりも前方に移動する。
3. 14インチの駆動輪を使用する。
4. トグル式ブレーキを使用する。
5. 足台をスイングアウト式にする。

17 85歳の女性。ADLに一部介助が必要だが、屋内歩行はつたい歩きで自立している。3か月前に机に手をついて床から立ち上がろうとした際に転倒したが、骨折には至らなかった。

自宅の住環境に関する助言として適切なのはどれか。

1. 敷居の段差に同系色のテープを貼る。
2. 階段や浴室に滑り止めマットを敷く。
3. 夜間の照明は視線の高さに設置する。
4. トイレの開き戸をカーテンに変更する。
5. 必要な物は手の届く範囲の床上に置く。

18 87歳の女性。転倒による大腿骨近位部骨折に対する手術後。理学療法を行っているが、筋力増強の効果が不十分で全身の持久性も低下している。下肢の浮腫を認めたため主治医へ報告したところ、栄養障害はあるが内科的な併存症はないといわれた。

理学療法を行う上で、特に参考となる血液検査所見はどれか。

1. アルカリフォスファターゼ
2. クレアチニン
3. 空腹時血糖
4. アルブミン
5. 赤血球

19 運動中に得られたモニター心電図(別冊 No. 4 ①～⑤)を別に示す。

多源性の心室期外収縮(Lownの重症度分類グレード3)はどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

別 冊

No. 4 ①～⑤

20 60歳の女性。身長 160 cm、体重 70 kg。安静時心拍数 70/分、安静時血圧 140/80 mmHg。現在、運動療法として、朝と夕方に散歩(3METs)を各々45分行っている。

下記の指標を求める計算方法で誤っているのはどれか。

1. BMI : $70 / (1.6)^2$
2. 標準体重(kg) : $(1.6)^2 \times 22$
3. 予測最大心拍数(/分) : $220 - 60$
4. 平均血圧(mmHg) : $(140 - 80) / 2 + 80$
5. 散歩による消費エネルギー(kcal) : $1.05 \times 3 \times 1.5 \times 70$

21 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)で部位・運動方向と移動軸の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 肩内旋 ————— 尺 骨
2. 肩水平屈曲 ————— 橈 骨
3. 肘伸展 ————— 橈 骨
4. 手屈曲(掌屈) ————— 第3中手骨
5. 手尺屈 ————— 第2中手骨

22 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)で垂直線を基準に用いるのはどれか。2つ選べ。

1. 肩屈曲
2. 肘屈曲
3. 股内旋
4. 膝屈曲
5. 頸部側屈

23 Daniels らの徒手筋力テストにおける段階 4 の検査で、検査する運動と抵抗を加える部位の組合せで正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 股関節伸展 ————— 下腿遠位部後面
2. 股関節屈曲 ————— 大腿近位部前面
3. 股関節屈曲位からの外転 ——— 下腿遠位部外側面
4. 股関節内転 ————— 大腿遠位部内側面
5. 股関節外旋 ————— 下腿遠位部外側面

24 Daniels らの徒手筋力テストで正しいのはどれか。

1. 順序尺度である。
2. 5 段階評価である。
3. 実施にあたって年齢は考慮しない。
4. 個々の筋の筋力が測定可能である。
5. 段階 2 は最大筋力の約 40 % に相当する。

25 脳卒中後の肩手症候群について正しいのはどれか。

1. 患側の手に冷感がみられる。
2. 麻痺が重度の場合に発症しやすい。
3. 星状神経節ブロックは無効である。
4. 脳卒中発症後 3 週以内に生じやすい。
5. 自動的な関節可動域運動は症状を悪化させる。

26 Parkinson 病に対する UPDRS を用いた理学療法の評価の説明で正しいのはどれか。

1. 3 段階の定性尺度で評価する。
2. 安静時振戦は off 時に評価する。
3. 着衣は on 時と off 時に分けて評価する。
4. 歩行中のすくみは on 時のみで評価する。
5. 得点が高いほど活動性が高いことを意味する。

27 再燃を繰り返している多発性硬化症患者において、ステロイドパルス療法後に介助での座位が可能となり、理学療法が開始された。

適切なのはどれか。

1. スクワット運動を行う。
2. 座位バランスの安定化を促す。
3. 自主練習として伝い歩きを指導する。
4. 疼痛を伴うときには温熱療法を行う。
5. 重錘を用いた筋力トレーニングを行う。

28 眼振がみられる患者の体幹筋の協調運動障害に適応となるのはどれか。

1. Epley 法
2. Klapp 体操
3. Böhler 体操
4. Frenkel 体操
5. rhythmic stabilization

29 6歳までの脳性麻痺で最も多いタイプはどれか。

1. 痙直型
2. 失調型
3. 弛緩型
4. 混合型
5. アテトーゼ型

30 Zancolli の四肢麻痺上肢機能分類で基本的機能筋に指定されているのはどれか。2つ選べ。

1. 上腕三頭筋
2. 上腕筋
3. 円回内筋
4. 橈側手根屈筋
5. 深指屈筋

31 前脊髄動脈症候群において損傷レベル以下で低下する感覚はどれか。

1. 二点識別覚
2. 運動覚
3. 位置覚
4. 温度覚
5. 振動覚

32 Perthes 病で正しいのはどれか。

1. 股関節の内転が制限される。
2. 股関節の外旋が制限される。
3. Trendelenburg 徴候は陰性である。
4. 保存的治療には免荷装具が用いられる。
5. 発症年齢が低いほど機能的予後は悪い。

33 Duchenne 型筋ジストロフィーで正しいのはどれか。

1. 常染色体劣性遺伝である。
2. 下肢の腱反射は亢進する。
3. 下肢の関節拘縮を生じやすい。
4. 閉塞性換気障害を生じやすい。
5. 前脛骨筋に仮性肥大を生じやすい。

34 膝半月板断裂で陽性を示すのはどれか。

1. Jackson テスト
2. Lachman テスト
3. McMurray テスト
4. Ober テスト
5. Roos テスト

35 手指の拘縮・変形とその原因の組合せで正しいのはどれか。

1. Volkmann 拘縮 ————— 上腕の阻血
2. Dupuytren 拘縮 ————— 手掌腱膜の断裂
3. ボタンホール変形 ————— PIP 関節の伸筋腱断裂
4. スワンネック変形 ————— DIP 関節の屈筋腱断裂
5. 槌指変形 ————— MP 関節の屈筋腱断裂

36 末梢神経障害における症状で正しい組合せはどれか。2 つ選べ。

1. 顔面神経 ————— 開眼障害
2. 副神経 ————— 肩甲骨挙上障害
3. 橈骨神経 ————— 前腕回内障害
4. 閉鎖神経 ————— 股関節外転障害
5. 脛骨神経 ————— 足関節底屈障害

37 骨盤底筋体操の効果が最も期待される病態はどれか。

1. 溢流性尿失禁
2. 過活動膀胱
3. 機能性尿失禁
4. 切迫性尿失禁
5. 腹圧性尿失禁

38 電気刺激療法の**適応とならない**のはどれか。

1. 脳卒中片麻痺患者の歩行における足背屈補助
2. 変形性膝関節症による疼痛の軽減
3. 末梢性顔面神経麻痺の機能回復
4. 脊髄損傷の起立動作補助
5. 褥瘡の組織修復の促進

39 Syme 切断で正しいのはどれか。

1. 足根間関節の切断である。
2. 断端の外観が良い。
3. 断端荷重はできない。
4. 義足懸垂は下腿義足に比べて困難である。
5. 義足装着時の歩行能力は健常者とほぼ同等である。

40 両側金属支柱付き長下肢装具の適合判定で正しいのはどれか。 **2 つ選べ**。

1. 外側支柱の高さは上前腸骨棘から 2 ～ 3cm 下方とする。
2. 内側支柱の高さは会陰部から 2 ～ 3cm 下方とする。
3. 膝継手の高さは膝関節の関節裂隙に合わせる。
4. 下腿半月上縁の高さは腓骨頭から 2 ～ 3cm 下方とする。
5. 足継手の高さは外果下端に合わせる。

41 標準型車椅子の採寸について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 座幅は両大転子間の幅に 10～15 cm 加えた幅とする。
2. フットレストの床からのクリアランスは 5 cm 以上とする。
3. アームレストは座面から肘までの高さに 5～10 cm 加えた高さとする。
4. 座の奥行きは背面から膝窩までの長さから 10～15 cm 引いた長さとする。
5. 背もたれの高さは座面から腋窩までの長さから 5～10 cm 引いた高さとする。

42 慢性閉塞性肺疾患における包括的呼吸リハビリテーションで正しいのはどれか。

1. 運動耐容能の改善を図ることができる。
2. 吸気時に動作を行うように指導する。
3. 上肢筋力トレーニングは行わない。
4. 健康関連 QOL に影響を与えない。
5. 栄養指導は含まない。

43 糖尿病性神経障害で正しいのはどれか。

1. 単神経障害を呈することが多い。
2. 近位部の筋力低下が生じやすい。
3. アキレス腱反射が低下しやすい。
4. 深部感覚では位置覚が障害されやすい。
5. 感覚障害は左右非対称であることが多い。

44 トレーニングについて誤っているのはどれか。

1. サーキットトレーニングでは全身的な持久力が増大する。
2. レジスタンストレーニングでは有酸素トレーニングと比べて血圧が上昇する。
3. インターバルトレーニングでは持続トレーニングと比べて心臓への負担が増大する。
4. トレッドミルトレーニングでは歩行速度と傾斜角度によって運動強度を調整できる。
5. エルゴメータトレーニングでは全身的なトレーニングと比べて局所筋の疲労感が出現する。

45 顎関節にある関節円板の動きに直接関係する筋はどれか。

1. 咬 筋
2. 側頭筋
3. 顎二腹筋
4. 大頬骨筋
5. 外側翼突筋

46 成人の静止立位で正しいのはどれか。 2 つ選べ。

1. 体重心線は膝関節軸の前方を通る。
2. 体重心は床から身長の 45 %の高さにある。
3. 頭部の重心線は環椎後頭関節の後方を通る。
4. 身長に対する体重心の相対的位置は小児より低い。
5. 足関節にかかる重力のモーメントは底屈モーメントである。

47 PEDI (pediatric evaluation of disability inventory) で誤っているのはどれか。

1. 4 か月児から評価の対象になる。
2. 補助具の使用状況进行评估できる。
3. 正常発達からの偏差进行评估できる。
4. 特定のことができる能力进行评估する。
5. 介護者による援助の状態进行评估できる。

48 値が大きい場合に機能が良好であると判断できるのはどれか。2 つ選べ。

1. Trail making test (TMT)
2. Cross test による軌跡長
3. 立ち上がり動作の所要時間
4. 静止立位時の身体動揺面積
5. Functional balance scale

49 2 つのバランス練習の効果を比較するため、オッズ比の 95 %信頼区間を計算したところ、以下の値が得られた。

効果が有意であるのはどれか。2 つ選べ。

1. 0.65～0.89
2. 0.89～1.39
3. 0.65～1.39
4. 1.39～5.67
5. 0.65～5.67

50 理学療法士及び作業療法士法で正しいのはどれか。

1. 理学療法士でなくなった後には守秘義務も解除される。
2. 理学療法士名簿への登録者に理学療法士免許が与えられる。
3. 交通事故の加害者になっても理学療法士免許取得への影響はない。
4. 理学療法士国家試験合格者は自動的に理学療法士名簿に登録される。
5. 一旦、理学療法士免許が取り消されると再交付を受けることができない。

51 関節の形状で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 肩甲上腕関節は楕円関節である。
2. 腕尺関節はらせん関節である。
3. 橈骨手根関節は顆状関節である。
4. 手根間関節は鞍関節である。
5. 母指の手根中手関節は球関節である。

52 大腿骨について正しいのはどれか。

1. 頸部は後捻している。
2. 骨幹部は後弯している。
3. 外側顆は内側顆より大きい。
4. 骨頭窩は骨頭の外側にある。
5. 大転子は小転子より近位にある。

53 筋と付着部の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 腸腰筋 ————— 小転子
2. 縫工筋 ————— 腸骨稜
3. 大腿直筋 ————— 下前腸骨棘
4. 長内転筋 ————— 坐骨結節
5. 内側広筋 ————— 粗線外側唇

54 舌の運動を支配する神経の神経核があるのはどれか。

1. 間 脳
2. 中 脳
3. 橋
4. 延 髄
5. 脊 髄

55 相貌失認に関与するのはどれか。

1. 海 馬
2. 角 回
3. 乳頭体
4. 紡錘状回
5. 前脳基底部

56 筋紡錘の求心性神経線維はどれか。2つ選べ。

1. I a 神経線維
2. I b 神経線維
3. II 神経線維
4. III 神経線維
5. IV 神経線維

57 味覚を支配するのはどれか。2つ選べ。

1. 滑車神経
2. 顔面神経
3. 舌咽神経
4. 副神経
5. 舌下神経

58 呼吸器について正しいのはどれか。

1. 上気道とは鼻腔から咽頭までのことをいう。
2. 終末細気管支分岐の次は肺胞である。
3. 気管支は右より左の方が太く短い。
4. 輪状軟骨は弾性軟骨である。
5. 左肺門は右より高位である。

59 外胚葉に由来するのはどれか。2つ選べ。

1. 皮膚の表皮
2. 結合組織
3. 消化管上皮
4. 神 経
5. 骨

60 二重に神経支配を受けないのはどれか。

1. 手の虫様筋
2. 上腕筋
3. 恥骨筋
4. 大内転筋
5. 縫工筋

61 皮膚感覚と受容器の組合せで正しいのはどれか。

1. 痛 覚 ————— 自由神経終末
2. 温 覚 ————— Pacini(パチニ)小体
3. 冷 覚 ————— Meissner(マイスネル)小体
4. 触 覚 ————— Krause(クラウゼ)小体
5. 圧 覚 ————— Ruffini(ルフィニ)終末

62 複合感覚に含まれないのはどれか。

1. 重量覚
2. 部位覚
3. 立体覚
4. 関節位置覚
5. 二点識別覚

63 運動負荷による臓器への血流配分について正しいのはどれか。

1. 冠血流は減少する。
2. 肝血流は減少する。
3. 腎血流は増加する。
4. 脳血流は増加する。
5. 皮膚血流は減少する。

64 自律神経について正しいのはどれか。

1. 交感神経刺激は膀胱を収縮させる。
2. 交感神経刺激は心筋の収縮力を低下させる。
3. 副交感神経刺激は消化管運動性を低下させる。
4. 副交感神経刺激は唾液分泌を抑制する。
5. 副交感神経刺激は縮瞳を引き起こす。

65 心臓で正しいのはどれか。

1. 収縮期に冠血管の血流は増加する。
2. 心筋は伸張されると収縮力が低下する。
3. 左心室と左心房とは同時に収縮が始まる。
4. ノルアドレナリンは心筋収縮力を増加する。
5. 心筋の収縮は主に水素イオンの細胞内流入によって生じる。

66 糖質代謝について正しいのはどれか。

1. ビタミンCが補酵素として関与する。
2. 酸化リン酸化によって乳酸を生じる。
3. 中枢神経は脂肪酸をエネルギー源とする。
4. グルカゴンは糖新生系の生合成を促進する。
5. 甲状腺ホルモンは糖質代謝には関係しない。

67 排便に関与する体性神経はどれか。

1. 陰部神経
2. 下殿神経
3. 下腹神経
4. 骨盤神経
5. 上殿神経

68 基礎代謝について正しいのはどれか。

1. 男性は女性より低い。
2. 過食によって低下する。
3. 老化に伴い上昇する。
4. 寒冷の環境に慣れた人は低下する。
5. 副腎髄質ホルモンによって上昇する。

69 骨格筋の筋張力で誤っているのはどれか。

1. 活動張力は筋長が長くなるほど大きくなる。
2. 全張力から静止張力を引くと活動張力が得られる。
3. 求心性運動では速度が速いほど最大筋張力が小さい。
4. 筋張力が一定の場合、短縮速度は負荷が小さいほど速い。
5. 遠心性運動は求心性運動より大きな筋張力を発揮することができる。

70 上肢の関節について誤っているのはどれか。

1. 腕橈関節は球関節である。
2. 上橈尺関節は車軸関節である。
3. 肘の生理的内反の角度を運搬角という。
4. 肘頭は肘屈曲位で Hüter 三角を構成する。
5. 腕尺関節は上橈尺関節と同一の関節包内にある。

71 足について正しいのはどれか。

1. 距腿関節の運動軸は膝軸に対して内捻 $5 \sim 15^\circ$ である。
2. 舟状骨は外側縦アーチを構成している。
3. 背屈運動により果間距離は拡大する。
4. Lisfranc 関節では内外旋が生じる。
5. Böhler 角は $40 \sim 50^\circ$ である。

72 筋と体幹の運動の組合せで正しいのはどれか。

1. 外腹斜筋 ————— 同側への回旋
2. 最長筋 ————— 伸 展
3. 腹横筋 ————— 側 屈
4. 腹直筋 ————— 伸 展
5. 腰方形筋 ————— 屈 曲

73 正常歩行の全歩行周期に渡って筋活動がみられるのはどれか。

1. 下腿三頭筋
2. 大腿四頭筋
3. ハムストリングス
4. 中殿筋
5. 脊柱起立筋

74 運動学習において部分法に最も適している動作はどれか。

1. 歩 行
2. 食事動作
3. 階段の降段
4. リーチ動作
5. 立ち上がり動作

75 アテローム(粥状)硬化が関与する病態はどれか。

1. 慢性収縮性心膜炎
2. 慢性閉塞性肺疾患
3. 内頸動脈狭窄症
4. 椎骨動脈解離
5. 肝硬変

76 肝臓の機能不全によって起こる病態でないのはどれか。

1. 黄 疸
2. 腹 水
3. 出血傾向
4. 意識障害
5. 高コレステロール血症

77 移植後の拒絶反応について正しいのはどれか。

1. 自家移植で生じる。
2. T 細胞が活性化される。
3. I 型アレルギー反応である。
4. 抗体が移植片の細胞を損傷する。
5. 宿主と移植片の HLA が一致すると起こりやすい。

78 弟や妹が生まれたときに、子供が指しゃぶりを再び始めるのはどれか。

1. 解 離
2. 退 行
3. 代 償
4. 否 認
5. 同一化

79 「治る見込みがないのにリハビリテーションを続けるのはとても苦しいです」という訴えへの共感的な対応はどれか。

1. 「それは誤った考えですね」
2. 「もう少し頑張りましょう」
3. 「つらく感じているのですね」
4. 「なぜそのように思うのですか」
5. 「続けることにより効果が現れてきます」

80 「1本の実のなる木を描いてください」と指示する検査はどれか。

1. バウムテスト
2. P-F スタディ
3. Rorschach テスト
4. Trail making test (TMT)
5. Behavioral inattention test (BIT)

81 Rogers によるカウンセリングの方法はどれか。2つ選べ。

1. 自由連想
2. 抵抗分析
3. 来談者中心
4. 非指示的態度
5. 系統的脱感作法

82 IADL に含まれるのはどれか。2つ選べ。

1. 移 乗
2. 買い物
3. 整 容
4. 洗 濯
5. 排 泄

83 頸髄損傷患者でみられる脊髄ショック期の徴候はどれか。

1. 温痛覚解離
2. 腱反射亢進
3. 痙性四肢麻痺
4. 自律神経過反射
5. 肛門括約筋反射消失

84 一次予防はどれか。

1. 再発予防
2. 健康増進
3. 早期発見
4. 重症化予防
5. リハビリテーション

85 心不全で正しいのはどれか。

1. 左心不全では肝腫大をきたす。
2. 左心不全では頸静脈怒張がみられる。
3. 右心不全では肺動脈圧が上昇する。
4. 右心不全では下腿浮腫がみられる。
5. 脳性ナトリウム利尿ペプチドが低下する。

86 女兒に多いのはどれか。

1. Perthes 病
2. 先天性内反足
3. 大腿骨頭すべり症
4. Osgood-Schlatter 病
5. 發育性股関節形成不全

87 骨折の名称と部位の組合せで正しいのはどれか。

1. Barton 骨折 ————— 尺骨遠位端
2. Bennett 骨折 ————— 第2中手骨基部
3. Colles 骨折 ————— 上腕骨骨幹部
4. Monteggia 骨折 ————— 橈骨骨幹部
5. Smith 骨折 ————— 橈骨遠位端

88 絞扼性神経障害と神経の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 梨状筋症候群 ————— 坐骨神経
2. 肘部管症候群 ————— 正中神経
3. Guyon 管症候群 ————— 尺骨神経
4. 円回内筋症候群 ————— 尺骨神経
5. Hunter 管症候群 ————— 大腿神経

89 Parkinson 病の症状、徴候について正しいのはどれか。

1. 企図振戦
2. アテトーゼ
3. Myerson 徴候
4. ミオクロニー発作
5. 折りたたみナイフ現象

90 GMFCS (growth motor function classification system) extended and revised について正しいのはどれか。

1. 6つのレベルがある。
2. 環境要因を除外している。
3. 4つの年齢帯に分けて記載がある。
4. 脳性麻痺の重症度の判別に使われる。
5. 脳性麻痺児を臥位と立位の能力から分類する。

91 間質性肺炎の特徴はどれか。

1. 単純エックス線写真ですりガラス陰影
2. 肺コンプライアンスの上昇
3. 水泡音の聴診
4. 横隔膜低位
5. 湿性の咳嗽

92 腸重積の特徴はどれか。

1. 高齢者に多い。
2. 左側結腸に多い。
3. 腸雑音は亢進する。
4. 腸管の血流は保たれる。
5. 鼠径ヘルニアの嵌頓で起こる。

93 溶連菌感染と関連のあるのはどれか。

1. 猩紅熱
2. ガス壊疽
3. 帯状疱疹
4. 手足口病
5. 急性灰白髄炎

94 糖尿病に合併しやすい疾患として誤っているのはどれか。

1. 白内障
2. 尿路結石
3. 脳血管障害
4. 虚血性心疾患
5. 閉塞性動脈硬化症

95 嚥下障害の病態と用いられる介入の組合せで正しいのはどれか。

1. 口腔期障害 ————— 粘性の高い食物
2. 鼻咽腔閉鎖不全 ————— Shaker(シャキア)法
3. 喉頭挙上筋筋力低下 ————— 間欠的バルーン拡張法
4. 咽頭機能の左右差 ————— 頸部回旋
5. 輪状咽頭筋弛緩不全 ————— 軟口蓋挙上装置

96 統合失調症の予後について正しいのはどれか。

1. 男性の方が良い。
2. 若年発症の方が良い。
3. 陰性症状が優位な方が良い。
4. 緩徐に発症したものの方が良い。
5. 発症から治療開始までの期間が短い方が良い。

97 欠神発作について正しいのはどれか。

1. 知的障害を伴う。
2. チアノーゼを伴う。
3. 学童期の発症が多い。
4. 部分発作に分類される。
5. けいれんは一側上肢から全身に広がる。

98 アルコールによる精神障害について正しいのはどれか。

1. 振戦せん妄は酩酊中に生じる。
2. Wernicke 脳症はビタミン B₁₂ の欠乏による。
3. 急性中毒は長期のアルコール摂取により生じる。
4. アルコール依存症の治療には集団療法が有効である。
5. アルコール摂取を続けると、少量の酒でも酔いやすくなる。

99 PTSD (外傷後ストレス障害) について誤っているのはどれか。

1. 過覚醒がみられる。
2. アルコール乱用の要因となる。
3. 小さな物音にも敏感に反応する。
4. 症状は外傷後 1 か月以内に改善する。
5. 原因となる出来事は、ほとんど誰にでも大きな苦悩を引き起こす。

100 うつ病への対応として適切なのはどれか。

1. 重要な事柄についての判断を促す。
2. 休養の重要性について説明する。
3. 自殺の可能性は話題にしない。
4. うつ病の診断は伝えない。
5. 気晴らしを推奨する。

